



第 33 回 ICSW 世界会議

2008 年 6 月 30 日～7 月 4 日
於フランス、トゥール

『グローバルゼーションにおける社会福祉のダイナミックス』

～過去の教訓、そして現在および未来への挑戦～

第二報
2008 年 1 月

※「プログラム（案）」は 2008 年 6 月 11 日現在のものを掲載

www.icsw2008.org

会長挨拶



2008年、フランスでお会いしましょう

トゥールにおける ICSW 世界会議への参加のご案内を差し上げますことを、大変嬉しく思っております。80年前、ICSW は社会的な事象に関心のある研究者、政治家、そして人々を、パリで行なわれた第1回世界会議にお招きいたしました。私たちは今80周年を祝しつつ、過去の歴史から学び、そして将来において何を もっとよくすることができるのかについて考えたいと思います。

社会開発、そして進歩した社会福祉と社会正義とが私たちの目標です。ICSW は、世界的な社会政策に影響を与え、そして市民社会組織を強化することを目指しています。2008年の会議が、メンバーの皆様、そして参加者の皆様に、貧困と闘う新しい知識を、またより強い NGO を設立する能力を与えてくれることを願っております。社会開発を育み、貧困と闘うことは、大変難しい、また困難な仕事ではありますが、世界中の皆様からのご支援・ご協力をいただき、こうした目標の実現に向かって切磋琢磨してまいりたいと思います。

会議の会場は、私たちが請け負う仕事にとっては誠に理想的な場所です。トゥールはロワール渓谷にある、たいへん美しい街で、シャルル・ド・ゴール空港やパリからも列車ですぐのところへです。会議場は列車の駅のちょうど反対側にあり、素敵なホテルもまわりにたくさんあります。ホテルから会議場までは、美しい風景を楽しみながら、安全に歩いていただくとができます。

ICSW 世界会長
Solveig Askjem

予定表

6月30日（月）	
9：00-15：30	登録受付
16：00-18：00	開会式 歓迎宴～市庁舎～

7月1日（火）	
9：00-10：30	全体会議 1
11：00-12：30	シンポジウム 1、2、3
12:30-14:00	昼食
14:00-15:30	ワークショップ 10-19
16:00-17:30	ワークショップ 20-29
夕方	晚餐会（Conference Dinner）～Vinci 会議センター～

7月2日（水）	
9：00-10：30	全体会議 2
11：00-12：30	シンポジウム 4、5、6
12:30-14:00	昼食
14:00-15:30	ワークショップ 30-39
16:00-17:30	ワークショップ 40-49
夕方	特別晚餐会（Gala Dinner）～La Grange de Meslay～

7月3日（木）	
9：00-10：30	全体会議 3
11：00-12：30	シンポジウム 7、8、9
12:30-14:00	昼食
14:00-15:30	ワークショップ 50-59
16:00-17:30	閉会式～Vinci 会議センター～

7月4日（金）	
9：00-17：00	視察

会議のテーマ

ICSW の 80 周年記念大会は、フランスのトゥールにおいて、6 月 30 日から 7 月 4 日にかけて行なわれる。過去を顧み、現在の状況を思案し、そして未来に思いを馳せるまたとなない機会である。

2008 年はまた、世界人権宣言の 60 周年にも当たる。

ICSW の最初の 10 年間、社会福祉とは主に社会事業とソーシャルワークとに限られていた。それが次第に領域を広げ、今では、社会保護、貧困との闘いに力点を置きつつ、マクロ社会経済問題にまで広がっている。この 10 年間では、社会開発およびグローバリゼーションが ICSW 内での重要な課題となっている。

従って、ICSW 世界会議は、社会福祉の 3 つの領域、即ちソーシャルワーク、社会保護、そして社会開発に焦点を当てていくものとする。スピーカーに期待されるものは、これら 3 つの各領域において、我々がどのような軌跡を経てきたかを反映しつつ、我々がこれからどこへ向かうのかを予見し、また推測することである。

主要テーマ

ソーシャルワーク

ソーシャルワークは、今日では様々な社会活動、社会的職業、そして社会事業を包含したものを意味する。福祉国家から「ワークフェア（労働福祉）」国家への変遷は、ソーシャルワークにとって、単に活動やサービスを提供するという立場からの移動を促すものである。市民社会および市民一人一人が、各々の雇用適正に責任を持ち、そして自ら仕事を探すことを期待されている。しかし、個人主義を尊ぶ社会では、国家は公民権、人権および社会権を保証する必要がある。我々は福祉国家の終焉を予言しているのではない。国家はまだ機会均等を保証することに責任を持つ必要がある。足かせをはずされた市場は、万人に機会を提供することもしないし、また保証することもできないのである。社会福祉の運営ルールは、とりわけもっとも弱い者たちのニーズを満たすことを考えれば、決して自給自足では成り立たないのである。

社会保護

社会保護は、人生の大いなる危機から人々を護ることであり、そしてある程度の富の再配分を必要とするものである。社会保護の制度は、世界中のいたるところで大きな重圧を

受けている。世界経済は、社会コストを増大させた。社会保護の制度は、世界的な規制の欠如、高い失業率、「まっとうではない」あるいは受け入れがたい労働条件、貧しい国から富める国への大量の移民、そして地方から都会への人々の移動ゆえに、過大な緊張を強いられている。高齢化社会などの人口統計学的な傾向は、多くの社会保護制度の財政的実行能力を脅かしている。依存や長期的なケア、衛生上の危機や環境危機のような新しいリスクも生じている。社会保護については、もう一度方向付けをする必要がある。世界人口全体の4分の1以下しか、社会保護へのアクセスがないという状況は受け入れがたい。頼りになる社会保護は、家族や社会が、人的資本および社会資本の不可逆的な損失を防ぎ、また貧困および排除の世代間サイクルを破壊する一助となり得る。普遍的な政策、拡大する社会福祉事業のカバー範囲、健康保険および社会年金は、社会的に持続可能な開発の達成において、重要なプライオリティーである。

社会開発

社会開発は、経済発展と環境保護とに関連して、万人の幸福を向上させるように考案された、計画立てられた社会変化のプロセス、と定義付けることができる。社会開発コンセプトの歪みが現れてきた。いくつかの政府と国際的な金融機関が、社会開発よりも貧困削減に目を向けたのである。しかし貧困は問題の一部でしかない。このことは、社会全体よりも、社会のある一部のみに向けた政策の実施につながった。社会開発の専門家のほとんどが、主としてコミュニティ開発、市民社会の強化、人権および社会権の保証をめざす、より総合的な戦略を主唱している。人類の発展の指標は、教育、平等、被差別、児童死亡率、等々についての多くの非経済比率を考慮するよう作られているのである。

プログラム(案) ※2008年6月11日現在

登録日

6月30日(月)	
16:00-18:00	開会式 ○ トゥール市長 ○ ICSW 世界会長、Solveig Askjem ○ フランス政府高官 ○ 会議議長 ○ テーマ別基調講演者
夕方	トゥール市主催 歓迎宴 (カクテル・パーティー)

第1日目

7月1日(火)										
9:00-10:30	<u>全体会議 1</u> 「ソーシャルワーク：活動の提供から、市民社会の賦活および人権・社会権の促進へ」 議長 ：Jean-Jacques TREGOÄT (フランス) 労働・社会関連・家族・連帯省社会問題局長 スピーカー ： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">Benedita DA SILVA</td> <td style="text-align: center;">ブラジル</td> <td style="text-align: center;">リオ・デ・ジャネイロ州社会福祉人権長官</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">David JONES</td> <td style="text-align: center;">英国</td> <td style="text-align: center;">国際ソーシャルワーカー連盟会長</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Dominique SCHNAPPER</td> <td style="text-align: center;">フランス</td> <td style="text-align: center;">社会学者、フランス議会議員</td> </tr> </table>	Benedita DA SILVA	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ州社会福祉人権長官	David JONES	英国	国際ソーシャルワーカー連盟会長	Dominique SCHNAPPER	フランス	社会学者、フランス議会議員
Benedita DA SILVA	ブラジル	リオ・デ・ジャネイロ州社会福祉人権長官								
David JONES	英国	国際ソーシャルワーカー連盟会長								
Dominique SCHNAPPER	フランス	社会学者、フランス議会議員								
10:30-11:00	コーヒーブレイク									
11:00-12:30	<u>シンポジウム 1</u> 「増大する市民社会の役割、NGO、市民の権利拡大」 議長 ：Danilo SANTOS DE MIRANDA (ブラジル) サンパウロ州社会福祉局長、ICSW 中南米・カリブ地域会長 スピーカー ： <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">Judith KAULEM</td> <td style="text-align: center;">ジンバブエ</td> <td style="text-align: center;">ICSW 東・南アフリカ地域会長、 ジンバブエ貧困削減フォーラム理事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Zoubida CHAARROUF</td> <td style="text-align: center;">モロッコ</td> <td style="text-align: center;">ラバト大学教授、社会協同組合創立者</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">Diana NISTORESCU</td> <td style="text-align: center;">ルーマニア</td> <td style="text-align: center;">子どもを守るルーマニア NGO 連合理事</td> </tr> </table>	Judith KAULEM	ジンバブエ	ICSW 東・南アフリカ地域会長、 ジンバブエ貧困削減フォーラム理事	Zoubida CHAARROUF	モロッコ	ラバト大学教授、社会協同組合創立者	Diana NISTORESCU	ルーマニア	子どもを守るルーマニア NGO 連合理事
Judith KAULEM	ジンバブエ	ICSW 東・南アフリカ地域会長、 ジンバブエ貧困削減フォーラム理事								
Zoubida CHAARROUF	モロッコ	ラバト大学教授、社会協同組合創立者								
Diana NISTORESCU	ルーマニア	子どもを守るルーマニア NGO 連合理事								
<u>シンポジウム 2</u>										

	<p>「不公平および差別との闘いにおけるソーシャルワーカーの役割」 議長：Charles ABBEY（ガーナ） アフリカ開発プログラム常務理事、ICSW 中央・西アフリカ 地域会長</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1" data-bbox="464 495 1380 730"> <tr> <td data-bbox="464 495 756 589">Annamaria CAMPANINI</td> <td data-bbox="756 495 906 589">イタリア</td> <td data-bbox="906 495 1380 589">ミラノ大学ソーシャルワーク教授、ヨーロ ッパ社会事業学校連盟会長</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 589 756 636">Raymond CHABROL</td> <td data-bbox="756 589 906 636">フランス</td> <td data-bbox="906 589 1380 636">ナンシー大学経営学大学院準教授</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 636 756 730">Charles N. M'BUGUA</td> <td data-bbox="756 636 906 730">ケニア</td> <td data-bbox="906 636 1380 730">国際ソーシャルワーカー連盟アフリカ地 域副会長</td> </tr> </table> <p>シンポジウム 3</p> <p>「個人、家族、コミュニティ…ソーシャルワークそして社会政策のタ ーゲットとなるものはなにか？」</p> <p>議長：Hans VAN EWIJK（オランダ） ユトレヒト専門教育大学社会政策・ソーシャルワーク準教授</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1" data-bbox="464 1005 1380 1099"> <tr> <td data-bbox="464 1005 756 1052">François DE SINGLY</td> <td data-bbox="756 1005 906 1052">フランス</td> <td data-bbox="906 1005 1380 1052">パリ・デカルト大学社会関係研究所理事</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1052 756 1099">Abdou SALAM FALL</td> <td data-bbox="756 1052 906 1099">セネガル</td> <td data-bbox="906 1052 1380 1099">ダカール大学社会学教授</td> </tr> </table>	Annamaria CAMPANINI	イタリア	ミラノ大学ソーシャルワーク教授、ヨーロ ッパ社会事業学校連盟会長	Raymond CHABROL	フランス	ナンシー大学経営学大学院準教授	Charles N. M'BUGUA	ケニア	国際ソーシャルワーカー連盟アフリカ地 域副会長	François DE SINGLY	フランス	パリ・デカルト大学社会関係研究所理事	Abdou SALAM FALL	セネガル	ダカール大学社会学教授
Annamaria CAMPANINI	イタリア	ミラノ大学ソーシャルワーク教授、ヨーロ ッパ社会事業学校連盟会長														
Raymond CHABROL	フランス	ナンシー大学経営学大学院準教授														
Charles N. M'BUGUA	ケニア	国際ソーシャルワーカー連盟アフリカ地 域副会長														
François DE SINGLY	フランス	パリ・デカルト大学社会関係研究所理事														
Abdou SALAM FALL	セネガル	ダカール大学社会学教授														
12:30-14:00	ワーキング・ランチ															
14:00-15:30	<p>ワークショップ・シリーズ第1弾</p> <p>@10/ ヘルパーへのケア（仏／英） 進行役：Marie-Thérèse Paillusson（フランス） フランス社会福祉協議会（CNAS） スピーカー：Solange Colas（フランス） George Palattiyil（インド）</p> <p>@11/ 社会政策の展開と遂行における利用者並びに NGO の役割（仏 ／英） スピーカー：Elias Baruti（タンザニア） Laurence Flon（フランス） Didier Reynaert（ベルギー） Paul Samangassou（カメルーン） Dele Sonubi（ナイジェリア）</p> <p>@12/ 住居の権利（仏／英） 進行役：Jean Blocquaux（フランス） 社会問題名誉監察官 スピーカー：Jean-Baptiste Eyraud（フランス） Ben Huxtable（オーストラリア）</p>															

	<p>Michel Legros (フランス) Father Pedro Opeka (スロベニア)</p> <p>@13/ ヨーロッパ社会における優先順位とは？ (23に続く) (仏/英) 進行役：Bernard Brunhes (フランス) BPI 副会長 スピーカー：Jérôme Vignon (フランス) Yannick D’Haenne Cyril Cosme</p> <p>@14/ 東欧諸国における社会福祉制度の変遷 (1920～2000) (英) @15/ 貧困から発展へ～コペンハーゲン宣言の再生 (英) 進行役：Patrice Bourdelais (フランス) フランス社会科学上級研究所研究ディレクター スピーカー：Adina Rebeleanu (ルーマニア) Kinga Lampek (ハンガリー) Anita Magowska (ポーランド) Livia Popescu (ルーマニア)</p> <p>@16/ 危機にある子どもたち：早期予防 (仏) スピーカー：Claude Beau (フランス) Richard Tremblay (カナダ) Consuelo Quiroga (ブラジル)</p> <p>@17/ 人身売買との闘いとその結果 (英) 進行役：Michael Raper (オーストラリア) 社会福祉権センター所長 スピーカー：Michael A. Smith (米国) Lisa Thompson (米国)</p> <p>@18/ 市民社会の権利拡大 (英) 進行役：Pierre Alviset (フランス) CNAS 副会長 スピーカー：Sulina Green (南アフリカ) Rosa Shiow-hwa Luo (台湾) Sladjana Srbinoska (マケドニア) Haryono Suyono (インドネシア)</p> <p>@19/ ソーシャル・インクルージョン (英) 進行役：Tea Meinema (オランダ) MOVISIE スピーカー：Jae-Sung Choi (韓国)</p>
--	--

	<p>Seoung-ah Choi (韓国) Hyon Kun Kwak (韓国) Su-hwa Pong (台湾) Irimie Sabina (ルーマニア) A.S. Shenoy (インド) Dina P. Sidhva (インド) Seeralan Venkatesan (インド) Delia Walsh (オーストラリア)</p>
15:30-16:00	コーヒーブレイク
16:00-17:30	<p><u>ワークショップ・シリーズ第2弾</u> @20/ ソーシャルワーカー：社会的干渉の技術者か、市民社会の刺激役か？ (仏/英) 進行役：Hélène Maçon (フランス) CNAS 事務局長 スピーカー：Jen-Jen Lin (台湾) Françoise Raynaud (フランス) Tine Vanthuyne (ベルギー) Griet Verschelden (ベルギー) @21/ ソーシャルワークにおける新しい訓練ニーズ (仏/英) 進行役：Christian Moutier (フランス) ヴァル・ド・マルヌ県家族手当局ジェネラル・ディレクター スピーカー：Halim bin Ibrahim (マレーシア) Johnson Palakkappillil (インド) Shradha Tibrewal (インド) @22/ 子ども、家族、そして国家 (仏/英) 進行役：Claude Roméo (フランス) セーヌ・サン・ドニ郡子ども・家族部ディレクター スピーカー：Pak-yan Fung (香港) Na Byong Kyun (韓国) Mok Jae Min (韓国) Jean-Pierre Rosenczveig (フランス) @23/ ヨーロッパ社会における優先順位とは？ (13の続き) (仏/英) 進行役：Bernard Brunhes (フランス) BPI 副会長 スピーカー：Jérôme Vignon (フランス) Yannick D'Haenne</p>

	<p style="text-align: center;">Cyril Cosme</p> <p>@24/ 東欧諸国における脆弱な国民と社会福祉政策 (英)</p> <p>@25/ ICSW の各国親組織もしくは各国会員団体の設立</p> <p>@26/ 社会福祉分野における学術的研究 (英)</p> <p>進行役 : Eric Parpaillon (フランス)</p> <p style="padding-left: 40px;">保健・若者・スポーツ省アドミニストレーター</p> <p>スピーカー : Iris Fenner Bertani (ブラジル)</p> <p style="padding-left: 40px;">Joyce Yen Feng (台湾)</p> <p style="padding-left: 40px;">Betty Y. Weng (台湾)</p> <p>@27/ ジェンダー研究とソーシャルワーク (英)</p> <p>進行役 : Pierre Alviset (フランス)</p> <p style="padding-left: 40px;">CNAS 副会長</p> <p>スピーカー : Elieth Eyebiyi (ベニン)</p> <p style="padding-left: 40px;">Eva Holmberg-Herrström (スウェーデン)</p> <p>@28/ 子ども、家族、そして国家 (22 と同テーマ) (英のみ)</p> <p>スピーカー : Johannes C. Erasmus (南アフリカ)</p> <p style="padding-left: 40px;">Nam-Soon Huh および Yun-Soon Koh (韓国)</p> <p style="padding-left: 40px;">Hye Eun Lee, Sejeong Cheong, Jae-Sung Choi (韓国)</p> <p>@29/ ソーシャルワーカー : 社会的干渉の技術者か、市民社会の刺激役か? (20 と同テーマ) (英のみ)</p> <p>スピーカー : Hong Liu (香港)</p> <p style="padding-left: 40px;">Bala Nikku (インド)</p>
夕方	会議晩餐会 (於 Vinci 会議センター)



第2日目

7月2日(水)																			
9:00-10:30	<p>全体会議 2</p> <p>「社会保護：人口統計学的プレッシャーおよび財政的プレッシャーの下で、新しいリスクへの挑戦」</p> <p>議長：YB Datuk Dr. Ng YEN YEN (マレーシア) 女性・家族・地域開発大臣</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1"> <tr> <td>Sharan BURROW</td> <td>豪州</td> <td>国際労働組合総連合 (ITUC) 会長</td> </tr> <tr> <td>Xinping GUAN</td> <td>中国</td> <td>南開大学ソーシャルワーク・社会政策学部長、社会学教授</td> </tr> <tr> <td>Mark PEARSON</td> <td>英国</td> <td>OECD 社会政策部部長</td> </tr> </table>	Sharan BURROW	豪州	国際労働組合総連合 (ITUC) 会長	Xinping GUAN	中国	南開大学ソーシャルワーク・社会政策学部長、社会学教授	Mark PEARSON	英国	OECD 社会政策部部長									
Sharan BURROW	豪州	国際労働組合総連合 (ITUC) 会長																	
Xinping GUAN	中国	南開大学ソーシャルワーク・社会政策学部長、社会学教授																	
Mark PEARSON	英国	OECD 社会政策部部長																	
10:30-11:00	コーヒーブレイク																		
11:00-12:30	<p>シンポジウム 4</p> <p>「人口統計学的プレッシャーおよび財政的プレッシャー～高齢化社会、世代間の衝突と連帯、家族に対する公的政策」</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1"> <tr> <td>Adama DIARRA</td> <td>マリ</td> <td>マリ赤十字社社長、全国連帯基金理事</td> </tr> <tr> <td>Sonia Miriam DRAIBE</td> <td>ブラジル</td> <td>カンピナス大学公共政策教授</td> </tr> <tr> <td>François HERAN</td> <td>フランス</td> <td>フランス人口統計学研究機関理事</td> </tr> </table> <p>シンポジウム 5</p> <p>「世界レベルにおける仕事と雇用～ディーセント・ワーク、移民、ワークフェア（労働福祉）」</p> <p>議長：Pierre ALVISET (フランス) CNAS 副会長</p> <p>調停者：</p> <table border="1"> <tr> <td>Ibrahim AWAD</td> <td>エジプト</td> <td>ILO 国際移民プログラム部長 (要確認)</td> </tr> <tr> <td>Agnès SIMONYI</td> <td>ハンガリー</td> <td>エトヴェシュ・ロラーンド大学社会政策・ソーシャルワーク 準教授</td> </tr> </table> <p>シンポジウム 6</p> <p>「新しいリスクへの挑戦～依存、長期ケア、人道上の危機、衛生上の危機、そして環境分野における危機の発生」</p> <p>議長：Marie-Sophie DESAULLE (フランス) ポワトー・シャラント地域圏地域病院エージェンシー会長</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1"> <tr> <td>Didier TABUTEAU</td> <td>フランス</td> <td>相互貯蓄銀行基金総長、パリ政治学院公衆衛生教授</td> </tr> </table>	Adama DIARRA	マリ	マリ赤十字社社長、全国連帯基金理事	Sonia Miriam DRAIBE	ブラジル	カンピナス大学公共政策教授	François HERAN	フランス	フランス人口統計学研究機関理事	Ibrahim AWAD	エジプト	ILO 国際移民プログラム部長 (要確認)	Agnès SIMONYI	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学社会政策・ソーシャルワーク 準教授	Didier TABUTEAU	フランス	相互貯蓄銀行基金総長、パリ政治学院公衆衛生教授
Adama DIARRA	マリ	マリ赤十字社社長、全国連帯基金理事																	
Sonia Miriam DRAIBE	ブラジル	カンピナス大学公共政策教授																	
François HERAN	フランス	フランス人口統計学研究機関理事																	
Ibrahim AWAD	エジプト	ILO 国際移民プログラム部長 (要確認)																	
Agnès SIMONYI	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラーンド大学社会政策・ソーシャルワーク 準教授																	
Didier TABUTEAU	フランス	相互貯蓄銀行基金総長、パリ政治学院公衆衛生教授																	

12:30-14:00	ワーキング・ランチ
14:00-15:30	<p>ワークショップ・シリーズ第3弾</p> <p>@30/ 障害のない長寿 (仏/英) 進行役：Arlette Bosch (フランス) 社会福祉担当副市長 スピーカー：Claude Périnel (フランス)</p> <p>@31/ 労働福祉 (仏/英) 進行役：François Delalande (フランス) 国際舞台における保健および社会保護の公共利益団体上級コンサルタント スピーカー：Guillaume Filhon (フランス) Peter Herrmann (アイルランド) Boram Hwang (韓国) Veronica Sheen (オーストラリア) Matti Tuusa (フィンランド)</p> <p>@32/ 障害者雇用 (仏/英) スピーカー：José Fernandez (スペイン) Michael F. Förster (オーストリア)</p> <p>@33/ 保健における社会的不平等 (仏/英) 進行役：Marie-José Moquet (フランス) 国立衛生促進・衛生教育研究所実習・訓練・評価部部長 スピーカー：Catherine Jones Delampady Narayana (インド)</p> <p>@34/ 移民についての社会経済的見通し (英) 進行役：Pierre ALVISET (フランス) CNAS 副会長 スピーカー：Georges Goma-Gakissa (コンゴ) Yukiko Hashimoto (日本) Cynthia A. Hunter (米国) Susannah Lepley (米国) Samuel Nickels (米国) Jeremaiah Opiniano (フィリピン) Dina P Sidhva (インド) Nyunt Naing Thein (ビルマ/ミャンマー)</p> <p>@35/ ICSW の各国親組織もしくは各国会員団体の設立 (25 の続き) @36/ 書く権利 (英) 進行役：Karen Lyons</p>

	<p>『国際ソーシャルワーク』編集者</p> <p>@37/ 社会保護の改正 (英語)</p> <p>進行役: Agnès Plassart (フランス)</p> <p>国際舞台における保健および社会保護の公共利益団体会長</p> <p>スピーカー: Elias Baruti (タンザニア)</p> <p>Hsiu-Hui Chen (台湾)</p> <p>Şebnem Avşar Kurnaz (トルコ)</p> <p>Philippe Le Campion (フランス)</p> <p>@39/ ソーシャル・インクルージョン (19の続き) (英)</p> <p>進行役: Thea Meinema (オランダ)</p> <p>MOVISIE</p> <p>スピーカー: Jae-Sung Choi (韓国)</p> <p>Seoung-ah Choi (韓国)</p> <p>Hyon Kun Kwak (韓国)</p> <p>Su-hwa Pong (台湾)</p> <p>Irimie Sabina (ルーマニア)</p> <p>A.S. Shenoy (インド)</p> <p>Dina P. Sidhva (インド)</p> <p>S. Venkatesan (インド)</p> <p>Delia Walsh (オーストラリア)</p>
15:30-16:00	コーヒーブレイク
16:00-17:30	<p><u>ワークショップ・シリーズ第4弾</u></p> <p>@40/ 慢性病を管理する(仏/英)</p> <p>スピーカー: Max Rubisch (オーストリア)</p> <p>@41/ 世代間の衝突と連帯 (仏/英)</p> <p>進行役: Alain rozenkier (フランス)</p> <p>社会学者、全国労働者年金金庫 R&D 部門</p> <p>スピーカー: Jim Ogg (英国)</p> <p>@42/ 環境危機に対する社会の干渉 (仏/英)</p> <p>進行役: Franceline Fery (フランス)</p> <p>独立労働者社会機構ヨーロッパ部門部長</p> <p>スピーカー: Claude Londener (フランス)</p> <p>Daniel Louis Louisy (フランス)</p> <p>@43/ 持続可能な開発および地元の社会政策 (仏/英)</p> <p>スピーカー: Jérôme Guedj (フランス)</p> <p>Oumar Kane (マリ)</p>

	<p style="text-align: center;">Laurent Lampron and Réal Lavardière (カナダ)</p> <p>@ 44/ 移民についての社会経済的見通し (34 の続き)</p> <p>進行役 : Pierre ALVISET (フランス)</p> <p style="text-align: center;">CNAS 副会長</p> <p>スピーカー : Georges Goma-Gakissa (コンゴ)</p> <p style="text-align: center;">Yukiko Hashimoto (日本)</p> <p style="text-align: center;">Cynthia A. Hunter (米国)</p> <p style="text-align: center;">Susannah Lepley (米国)</p> <p style="text-align: center;">Samuel Nickels (米国)</p> <p style="text-align: center;">Jeremiah Opiniano (フィリピン)</p> <p style="text-align: center;">Dina P Sidhva (インド)</p> <p style="text-align: center;">Nyunt Naing Thein (ビルマ/ミャンマー)</p> <p>@ 45/ 市民社会と地域内政府グループとの関係作り (英)</p> <p>@ 47/社会保護のリフォーム (仏語)</p> <p>進行役 : Agnès Plassart (フランス)</p> <p style="text-align: center;">国際舞台における保健および社会保護の公共利益団体 会長</p> <p>スピーカー : Zine Barka (アルジェリア)</p> <p style="text-align: center;">Hae Ran Kim-Lescarret (韓国)</p> <p style="text-align: center;">Philippe Le Campion (フランス)</p> <p style="text-align: center;">Maria Nadir de Sales do Amaral Militão (ブラジ ル)</p> <p style="text-align: center;">Ana Maria Quiroga (ブラジル)</p> <p style="text-align: center;">Tarik Salhi (アルジェリア)</p> <p style="text-align: center;">Zakia Tobie (レバノン)</p>
夕方	特別晚餐会 (於 La Grange de Meslay) ~バスによる送迎



第3日目

7月3日(木)																									
9:00-10:30	<p>全体会議 3</p> <p>「社会開発：貧困削減に焦点を当てた政策から、包括的な社会政策まで」</p> <p>議長：Nouzha SKALLI (モロッコ) 社会開発、家族・連帯大臣</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1"> <tr> <td>Daniyal AZIZ</td> <td>パキスタン</td> <td>DTCE 会長</td> </tr> <tr> <td>Bob DEACON</td> <td>英国</td> <td>シェフィールド大学国際社会政策教授</td> </tr> <tr> <td>Isabel ORTIZ</td> <td>スペイン</td> <td>国連経済社会局上級地域間アドバイザー</td> </tr> </table>	Daniyal AZIZ	パキスタン	DTCE 会長	Bob DEACON	英国	シェフィールド大学国際社会政策教授	Isabel ORTIZ	スペイン	国連経済社会局上級地域間アドバイザー															
Daniyal AZIZ	パキスタン	DTCE 会長																							
Bob DEACON	英国	シェフィールド大学国際社会政策教授																							
Isabel ORTIZ	スペイン	国連経済社会局上級地域間アドバイザー																							
10:30-11:00	コーヒーブレイク																								
11:00-12:30	<p>シンポジウム 7</p> <p>「貧困削減政策および最低所得政策～結果と限界」</p> <p>議長：Patric HERMANGE (フランス) 全国労働者年金金庫会長</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1"> <tr> <td>Matthias ROMPEL</td> <td>ドイツ</td> <td>GTZ (Denys Correll)</td> </tr> <tr> <td>Fabio VERAS SOARES</td> <td>ブラジル</td> <td>経済学教授、UNDP 国際貧困センター 研究員</td> </tr> <tr> <td>Timo VOIPIO</td> <td>フィンランド</td> <td>AISS</td> </tr> </table> <p>シンポジウム 8</p> <p>「人類の発展～持続可能な発展、人権、社会政策および多文化主義、基礎教育」</p> <p>議長：Antoine FLAHAULT (フランス) フランス公衆衛生学校ディレクター</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1"> <tr> <td>Driss GUERRAOUI</td> <td>モロッコ</td> <td>モロッコ首相社会政策補佐官</td> </tr> <tr> <td>Frederic LESEMANN</td> <td>カナダ</td> <td>カナダ科学研究所社会学教授</td> </tr> <tr> <td>Shereen USDIN</td> <td>南アフリカ</td> <td>ソウル市保健開発コミュニケーション 研究所常務理事</td> </tr> </table> <p>シンポジウム 9</p> <p>「人類の発展にいかに融資すべきか～税金、民間基金、官民間の連携、国際的支援、「共同発展」</p> <p>スピーカー：</p> <table border="1"> <tr> <td>Hélène BOURGADE</td> <td>EC</td> <td>Europeaid (要確認)</td> </tr> <tr> <td>Magdy M. MOUSSA</td> <td>エジプト</td> <td>プラネット・ファイナンス中東部長</td> </tr> </table>	Matthias ROMPEL	ドイツ	GTZ (Denys Correll)	Fabio VERAS SOARES	ブラジル	経済学教授、UNDP 国際貧困センター 研究員	Timo VOIPIO	フィンランド	AISS	Driss GUERRAOUI	モロッコ	モロッコ首相社会政策補佐官	Frederic LESEMANN	カナダ	カナダ科学研究所社会学教授	Shereen USDIN	南アフリカ	ソウル市保健開発コミュニケーション 研究所常務理事	Hélène BOURGADE	EC	Europeaid (要確認)	Magdy M. MOUSSA	エジプト	プラネット・ファイナンス中東部長
Matthias ROMPEL	ドイツ	GTZ (Denys Correll)																							
Fabio VERAS SOARES	ブラジル	経済学教授、UNDP 国際貧困センター 研究員																							
Timo VOIPIO	フィンランド	AISS																							
Driss GUERRAOUI	モロッコ	モロッコ首相社会政策補佐官																							
Frederic LESEMANN	カナダ	カナダ科学研究所社会学教授																							
Shereen USDIN	南アフリカ	ソウル市保健開発コミュニケーション 研究所常務理事																							
Hélène BOURGADE	EC	Europeaid (要確認)																							
Magdy M. MOUSSA	エジプト	プラネット・ファイナンス中東部長																							

	Jacques TERRAY	フランス	トランスペアレンシー・インターナショナル・フランス副会長 (要確認)
12:30-14:00	昼食		
14:00-15:30	<p><u>ワークショップ・シリーズ 第5弾</u></p> <p>@50/ 女性と貧困 (仏/英) 進行役 : Agnès Plassart (フランス) 国際舞台における保健および社会保護の公共利益団体会長</p> <p>スピーカー : Ketevan Dadunashvili (グルジア) Yacine Diagne (セネガル) Elieth Eyebiyi (ベニン) Boram Hwang (韓国) Sabita Swain (インド) Pei Xiaomei (中国)</p> <p>@51/ 基礎教育、文化および社会開発 (仏/英) 進行役 : ボビニー「女性リレー」協会 スピーカー : Daoudi Malika (モロッコ) Nam-Soon Huh (韓国) Yun-Soon Koh (韓国) Gi-Joo Yi, Il-Young Koh (韓国) Fanta Sangaré (マリ)</p> <p>@52/ 保健と開発 (仏/英) 進行役 : Kulmie Samantar (フランス) 全仏相互保険会社連盟国債関係部部長 スピーカー : Henri Poizat (フランス) Lucia Silla (ブラジル) Fatima Sy (セネガル)</p> <p>@53/ 《共同発展》 (仏/英) スピーカー : Muriel Muller de Tannegg (フランス) Jeremaiah Opiniano (フィリピン)</p> <p>@54/ 小口貸付 (英) スピーカー : Thanh Tu Nguyen (ベトナム) Anuppalle R. Reddy (インド)</p> <p>@55/ 市民社会と地域内政府グループとの関係作り (45の続き) (英) @56/ 社会政策のグローバリゼーションと社会権へのアクセス (英) 進行役 : Blandine Destremau (フランス) フランス科学研究所経済学上級研究員</p>		

	スピーカー：Fazil Yozgat（トルコ）
16:00-17:30	閉会式 ○ 進むべき道－ICSW 常務理事 Denys Correll ○ CNAS 会長、会議組織委員会委員長 Christian ROLLET による閉会の辞 ○ 任期を満了する ICSW 会長 Solveig ASKJEM による閉会の言葉 ○ 新会長挨拶 ○ 2010 年合同世界ソーシャルワーク・開発会議実行委員長 Christine FANG による挨拶

	7月4日（金）
9：00／17：00	視察

ペーパー募集

第 33 回 ICSW 世界会議は、ソーシャルワーク、社会保護そして社会開発の 3 つの主要テーマを提案します。それぞれのテーマにつき 1 日を使い、午前中に行なわれる全体会議および 3 つの同時並行シンポジウムと、午後に行なわれるワークショップを通して、これらのテーマを掘り下げていきます。5 シリーズ各 10 本、合計 50 のワークショップが予定されています。ワークショップは、

- シンポジウムに直接関係があり、個別の問題についての議論を掘り下げるもの
- その他、参加者からの要望による、会議のテーマを扱う任意のトピックに《開かれて

いる》もの

の 2 つに大別される予定です。

各ワークショップの長さは、1 時間半です。招かれたスピーカー 1 人ないし 2 人が、トピックについての短いプレゼンテーションを行ない、続けて参加者によるディスカッションが行なわれます。それぞれのシリーズ毎に 10 本のワークショップが生まれ、そのうち 4 本に、英仏・仏英の通訳がつきます。その他の 6 本のワークショップについては、通訳はつきません。使用言語は、英語、フランス語、その他参加者に応じた言語ということになります。

これらのワークショップにペーパーを提出したいとお考えの方は、2008 年 3 月 15 日までに以下の情報を会議用のメールアドレス (globalconference@cnas-icsw.org) までお送り下さい。

- ペーパーを提出したいと考えているワークショップの番号。ワークショップのリストはウェブサイトにて入手可能。また新しいワークショップの提案も受け付ける。その場合は、タイトルおよび会議のテーマの 1 つとの関連性やその他参考資料を示す、トピックについての短い説明（2000 字以下）を含むものとする。
- プレゼンテーションの言語。英語もしくはフランス語。それ以外の言語を用いたい場合、実質的に十分な数の参加者がその言語でのワークショップに参加したいと希望しない限り、会議主催者はそのペーパーが受領されるかどうか保証することはできない。従って、プレゼンテーションは英語もしくはフランス語で行なうことをお勧めする。
- レジюме。完全な連絡先、国籍、年齢、性別、所属組織、関連する出版物および／または専門的な経験。最大 1 ページ。
- プレゼンテーションの短いアブストラクト（2000 字以下）もしくは本文そのもの。これは 10 分を超えてはならない。これらの文書は英語もしくはフランス語でなければならない。

プログラム委員会は、レジюмеおよびプレゼンテーションあるいはアブストラクトを審議

し、受領されたか否かを連絡します。場合によっては、了解を得た上で、申請したのとは異なるワークショップに配置換えになることもあります。またポスターセッションへの参加が了承される場合もあります。

ペーパーが受領されると、そのペーパーを特定のワークショップで発表していただくことになります。選抜されたことでトゥールの会議への参加に助成金が出るわけではありませんのでご承知おきください。また ICSW に著作権を譲渡する旨の書類にサインしていただくことになります。

またプレゼンテーションではパワーポイントをお使いになることを強くお勧めします。選抜された場合には、『パワーポイントのガイドライン』をお送りいたします。

第 33 回 ICSW 世界会議に参加ご希望の方へ

まずはご登録下さい。登録手順は Vinci 会議センターによって行なわれますが、会議のウェブサイトからもアクセスできます。下記の通り、登録費をお支払いいただく必要があります。Vinci 会議センターが運営する安全な支払い方法により、オンラインでお支払いいただくことができます。

登録費リスト

(1) ICSW 会員団体のメンバーで、OECD の ODA 支援リストに載っている国からの参加者 (*)	2008 年 5 月 1 日以前	€150
	2008 年 5 月 1 日以降	€200
(2) ICSW 会員団体のメンバーで、OECD の ODA 支援リストに載っていない国からの参加者 (*)	2008 年 5 月 1 日以前	€300
	2008 年 5 月 1 日以降	€350
(3) ICSW 会員団体のメンバーではなく、OECD の ODA 支援リストに載っている国からの参加者 (*)	2008 年 5 月 1 日以前	€180
	2008 年 5 月 1 日以降	€230
(4) ICSW 会員団体のメンバーではなく、OECD の ODA 支援リストに載っていない国からの参加者 (*)	2008 年 5 月 1 日以前	€350
	2008 年 5 月 1 日以降	€400
(5) 参加者の同行者	同行する参加者の会費の 50%とする。	

(*) OECD の分類により ODA 支援の対象となっている国のリストについては、会議のウェブサイトの「登録」のページで見ることができる。

<http://www.oecd.org/dataoecd/23/34/37954893.pdf>

登録特典

登録をすると、以下のような特典がございます。

(1) 参加者特典

- a. 会議の開会式、閉会式にご参加いただけます。
- b. 全体会議、シンポジウム、ワークショップの全てにご参加いただけます。
- c. 7月1日、2日、3日の会場でのランチ、7月1日、2日、3日の10時半のコーヒー・ブレイク、および7月1日、2日の3時半のコーヒー・ブレイクをお楽しみいただけます。
- d. 6月30日午後のウェルカム・カクテル、7月1日の会議ディナー、7月2日のガラ・ディナーをお楽しみいただけます。
- e. 6月30日から7月3日まで、会議センターにあるサイバー・ステーションをご利用になれます。
- f. 7月4日にたくさんの視察見学がございます。
- g. 会議の前に提出された電子版のスピーカー原稿および会議の結論が入手できます。

(2) 同行者特典

- 上記特典の(a) および(d)
- トウールのガイド付きツアー

※ 登録前にウェブサイトにてプログラムをご確認いただけます。

登録手順では以下の情報をご用意下さい。

(1) どのシンポジウムに参加したいか

- 7月1日の1、2、あるいは3
- 7月2日の4、5、あるいは6
- 7月3日の7、8、あるいは9

(2) どのワークショップに参加したいか

火曜日と水曜日の午後に、10のワークショップが2シリーズ行われ、また木曜日の午後に10のワークショップが1セット行われます。

会場となる部屋のサイズを決めるために、どの程度の参加者が見込まれるのか、皆様のご意向をお伺いしたいと思います

登録は2008年1月21日からスタートします。登録するには、会議のウェブサイトの「登録」ページをご覧ください。

後援

- ◆ フランス雇用労働社会連帯省
- ◆ 全国労働者健康保険金庫 (Caisse Nationale d'Assurance Maladie des Travailleurs Salaries: CNAMTS)
- ◆ 全国労働者年金金庫 (Caisse Nationale d'Assurance Vieillesse des Travailleurs Salaries: CNAVTS)
- ◆ 全国家族手当金庫 (Caisse Nationale des Allocations Familiales: CNAF)
- ◆ 相互貯蓄銀行基金 (Foundation des Caisses d'Epargne)
- ◆ トゥール市
- ◆ 独立労働者 (非従業員) 社会機構 (Regime Social des Travailleurs Independants: RSI)
- ◆ イル・ド・フランス労働者健康保険地方金庫 (Caisse Regionale d'Assurance Maladie d'Il-de-France)
- ◆ AG2R
- ◆ 国立公衆衛生学校 (Ecole Nationale de Sante Publique: ENSP)
- ◆ 国際舞台における保健および社会保護の公共利益団体 (Groupement d'Interet Public Sante et Protection Sociale Internationale, GIP-SPSI)
- ◆ Médéric

2008年フランスのトゥールによろこそ！



社会正義のために働いているみなさん、貧困と闘っているみなさん、そして社会的権利を求めて苦勞していらっしゃるみなさん。みなさんはグローバリゼーションが極めて重要な課題であり、脅威であるとともに多大な影響力を持っていることをご存知だと思います。

第33回ICSW世界会議は、会って、そして議論する、というまたとない機会であり、これらの主要な事柄に関与している社会政策関係者のきわめて重要な国際会議でもあります。全仏社会福祉委員会（CNAS-Comité National d'Action Sociale : French Committee on Social Welfare）を代表いたしまして、2008年6月30日～7月4日にかけて行なわれるこの重要なイベントにご参加くださいますよう、謹んでご案内申し上げます。

私たちは、ICSW がその 80 年間にわたる歴史の中で培ってきた経験から学ぶことによって未来を模索し、また私たちを待ち受けている課題をよりよく理解したいと願っています。そしてそのために、ソーシャルワーク、社会保護、そして社会開発という 3 つの重要な分野における主要な評価を分析したいと考えています。3 回にわたる全体会議、9 つのシンポジウム、そして約 50 にのぼるワークショップが、レクチャー、議論、そして様々なバラエティーに富んだ交流を結びつける手段となるでしょう。参加者の皆様は、各々が興味ある課題を見出すとともに、それらに対して貢献することができるでしょう。

フランスのルネッサンスの揺り籠といわれているトゥールは、その穏やかな暮らしぶりで知られています。私たちも皆様のご滞在が楽しいものになるよう、そして友好を深めるよい機会になるよう、精一杯務めてまいりたいと存じます。

それでは近いうちにお目にかかますことを楽しみにしております。よろこそ、トゥールへ！

CNAS 会長
Christian Rollet